

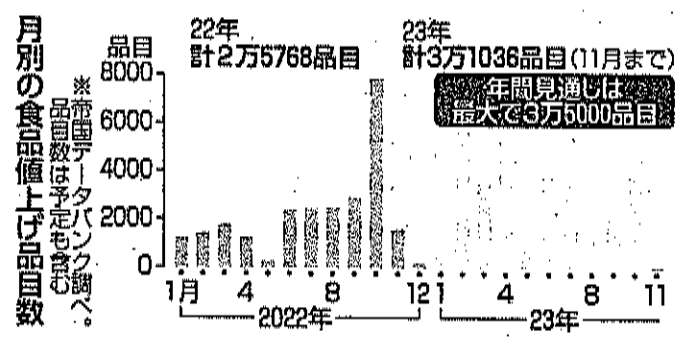
9月食品値上げ2千品目

前年同月比は2カ月連続減

帝国データバンクは31日、9月の食品値上げが2067品目にととの調査結果を発表した。前年同月比では8月に続き、2カ月連続の減少となった。複数回の値上げで企業の収益が改善した影響とみられ、10月以降も前年の数字を下回る見込みだ。

年間では、今年前半に値上げが相次いだ影響で前年から1万増の最大3万5千品目になる見通し。ただ、消費者の購買力が低下して売れ行きが伸び悩んでおり、値上げペースの鈍化につながっている。原油やガソリン価格の上昇が続く中で、帝国データは「来年以降に値上げが持ち越される可能性もある」と指摘した。

9月の値上げは品目別で「調味料」が12257品目と最多となる。マルサンア



イ(愛知県岡崎市)が原料の大豆の高騰を理由にみそなどを値上げする。

「加工食品」は490品目で、日清食品冷凍がラーメン、焼きそばといった冷凍食品の出荷価格を約5〜20%引き上げる。また「菓子」も206品目が値上げりする。